学校番号	3011

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	工学系１年次
使用教科書	「高校生の美術 1」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「鑑賞」の分野について学習します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
それぞれの分野や題材の固有な技法や特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。造形的な見方・考え方を深められるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
表現題材に対し発想や構想を練り、創造的な表現を工夫して、芸術のよさや美しさを深く味わうことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたり美術を愛する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ○必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	不思議な図形	【デザイン】 ・エッシャーのだまし絵や遠近法、錯覚を生かした作品を鑑賞する。 ・図形を切って自由に組んだり描き足して面白い図形や画面配置を考える。 ・立体的に見える配色や、配色による心理効果をよく考えながら、ていねいに着色作業を行う。 ・出来た作品を鑑賞する。	a: 立体感の出る効果的な図形の配置や、暖色・寒色の心理効果などの配色にねらいをもちながら、着色する。 b: 図形を切って自由に組み合わせたり、描き足したりして面白い図形や画面配置を考える。 c: 集中して、塗り残しがないように丁寧に塗る。友達の作品のよさや美しさを感じ取り、鑑賞する。	実習状況の観察、作品、制作レポート	実習状況の観察、作品、	実習状況の観察、感想レポート、
	スクラッチボード	【絵画・彫刻】 ・原画をスクラッチボードに転写し、ニードルで削って作品を作る。 ・凹版の要領で、線の強弱や密度を考えながら、制作を行う。	a: ニードルの使い方を理解し、表現方法を工夫する。 b: 線の強弱や密度で、明暗や立体感を出せるように構想を練る。 c: 主体的に取り組む。友達の作品のよさや美しさを感じ取り、鑑賞する。	実習状況の観察、作品、制作レポート	実習状況の観察、作品、	実習状況の観察、作品、制作レポート
2学期	粘土でフィギュアを作る	【彫刻・着彩】 ・ロダンやジャコメッティ等彫刻家の作品を鑑賞し、立体の表現方法を学ぶ。 ・針金で骨組みを作り、粘土で肉付けする。 ・ヤスリ、彫刻刀を使って量感を調節し、理想の肉体を表現し、質感も与える。 ・絵具で着彩する。	a: 筋肉の動きや肉付き、質感を観察して、粘土で表現する。 b: 粘土や道具の加工方法や特徴を学びフィギュアをデザインし、色の効果も考え、完成度高く仕上げる。 c: 世界の彫刻に興味を持ち、主体的に取り組む。友達の作品のよさや美しさを感じ取り、鑑賞する。	実習状況の観察、作品、制作レポート	実習状況の観察、作品、	実習状況の観察、作品、制作レポート

	銅版レリーフ	【絵画･彫刻】 ･銅版をヘラで叩く･こする、などして凹凸をつけ、レリーフを制作する。 ･原画をよく見て、凹凸を適切につけ、レリーフ表現を行う。 ･硫黄で銅板をいぶし、	a:いぶし加工の特徴を生かした造形を複数の道具を使って作る。 b: 主題をより表現するために銅板加工法を吟味し、道具を生かして表現の幅を増やす。 c:いぶし加工の歴史や使われ方を理解し、主体的に制作に取り組む。あきらめずに理想の造形を仕上げる。	実習状況の観察、作品、制 作 レポート	実習状況の観察、作品、	実習状況の観察、作品、制作レポート
3学期	木炭デッサン	【絵画】 ･木炭の歴史、使用方法、表現の可能性を学ぶ。 ･モチーフのリンゴをよく観察して、木炭の濃淡で光と影を表現し、立体感を出す。	a: モチーフのリンゴをよく観察して、木炭の濃淡で光と影を表現し、立体感を出す。 b: 木炭の濃淡やタッチで、感じた明暗や立体感を表現できるように工夫する。 c: 筆記具の歴史や描画の違いを理解し主体的に取り組む。友達の作品のよさや美しさを感じ取り、鑑賞する。	実習状況の観察、作品、制 作 レポート	実習状況の観察、作品、	実習状況の観察、作品、制作レポート
	鋳造によるアクセサリー制作	【絵画･彫刻】 ･厚紙に自分の作りたい形のアイデアを練る。 ･指示に沿って厚紙を切り抜く。 ･溶かした錫合金を、厚紙で作った鋳型に流し込む。 ･合金が冷めたら型から外し、棒やすりやペーパーで磨く。	a:鋳造技術を学び、錫の特徴を生かした造形を、色々な道具の使い方を理解して作り上げる。 b: 鋳型の仕組みを理解し、金属の流れを考慮しながらデザインを構想する。 c:作りたい形が完成するまで試行錯誤しながら主体的に取り組む。道具の整備、片付けをきちんと行う。	実習状況の観察、作品、制 作 レポート	実習状況の観察、作品、	実習状況の観察、作品、制作レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度